事業	コード	540			課コード		0508	会計和	別介	護保険特別会	計		予算の	種類 [□政策	■経常	□なし	
1 3	事業の概要(PLAN)																	
	- 未vying (i Lnit)		基本事業	介護保険制	度の適切な運用				実	施計画への		+ 0.5		D +n =m +n	100 mb 4-11 d			
		①事業名		l	と給資格・管理運2	営				位置づけ		9 有 〇無		2部課名	,,	部・高齢者支援課		
		③事業主体 ⑤事業期間	●市	〇その他		12年度 ~				象地区 —————— 当職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 6 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市		
(1)事業	概要	⑦事業費	総事業費			0 千円					(当 初)	31	,092 千円	2 千円 (うち人件費 6,230 千円)				
		(人件費含む)		<u> </u>						核(開始)年度	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)		
		⑧施策の位置づけ	施策 コード		34001		重点プロジェクト への位置づけ	重点なし		本計画地区別 への位置づけ	C)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)	第8期介護保険	事業計画ほか	
(2)目的		施策目的 · 展開方向					ビニ納付など保険料の納付方; などを実施することで、保険;			事業目的		第1号被保険者及 護サービスを十分						
		展開力问	毎月の65	5歳到達者及	なび日常の転入、	転出者、死亡者	が提供できるよう、要介護者の 、転居者について、住民記録	オンラインと連動	を図り		随時介護保険	め細かな支援を図 証の発行、負担限		発行、要介護等決	R定通知書の	発行、負担割合証	の発行 高齢者	
			る。また、	認定情報、			し、介護保険証の発行を行う; 運営することにより適切な介詞		図るこ	当該年度		会システム過去履		化				
(3)事業	内容	内 容		1月からの包			会システム変更に伴い、現在(のシステムに登録		執行計画	高齢者支援台	帳システム用機器設定	(50台分)					
			令和4年1		内ICTインフ		毎にPDF化を行う。 ィのシステムの開始に伴い、i	高齢者支援台帳シ	ステム	当該年度	当該年度第 1	号被保険者到達数			単位	想定值	1, 700	
(4) ' * -	ᄆᄺᄲᆉᆉᄀᅷᄪᄾ		円筬番の設	延を打り。			2\			動結果指標		44				実績値	(6) 日栖は	
	目標(期待する成果) 年度	資格付与漏れ・喪	失漏れの防止	Ŀ	達成日1	標(期待する成果	\$)			指標種類 一直接	資格付与漏れ	・喪失漏れの防止			単位		(6)目標値	
令和	4年度	資格付与漏れ・喪	失漏れの防止	E						直接	資格付与漏れ	・喪失漏れの防止	した割合		%		100	
令和	5年度	資格付与漏れ・喪	失漏れの防止	Ŀ						直接	資格付与漏れ	・喪失漏れの防止	した割合		%		100	
(7)事業	実施上の課題と対応	外国人登録者の資	格取得の有無	無及び転入者	首の受給資格証明	書の確認を、市	民課と連携を図り適正に処理	する。	f	大替案検討)有 ●無						
			令和 2:	年度			令和 3年度			1		和 4年度			会:	和 5年度		
		政	内 容	112	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円) 政	内 :		金額(千円)	政	内容		金額(千円)	
		介護保険事務選 会計年度任用職			25, 757 2, 558		京 介護保険事務運営費				険事務運営費 度任用職員		19, 862 1, 989				19, 862 1, 989	
		2, 558, 000円×			2,000	* (★介護保険受給資格・管理運営★> 介護認定審査会システム過去履歴等の 2,530					931円×1.0×1ノ		1, 55		円×1.0×1人		1,000	
											護保険受給資格 定審査会システ	・管理運営★> ム過去履歴等の	2, 530	0 : 介護認定署	査会システ.	・管理運営★> ム過去履歴等の	2, 530	
	実施内容						業業務委託 爰台帳システム用機器設定業務委	481			供作業業務委託 支援台帳システム用	機器設定業務委	48		業業務委託 爰台帳システム用ホ	機器設定業務委	481	
(8) 施行	事項費用						託 (50台分)				合分)			託(50台分)			
	予算(決算)額		숨 計		28, 315		合 計	24, 862			合 計		24, 86		合 計		24, 862	
	国庫支出金 県支出金	補助率		0 %	0	補助率	0 % 0 % 0 %	0		補助率		0 % 0 % 0 %		0 補助率 0 補助率 0 充当率		0 %	0	
(9) 財源	内訳 起債 一般財源 その他の財源	充当率	益 口基金 口	0%	△660 28, 975	,,,,,	□受益 □基金 □その他	24, 862		充当率	会 口受益 口基:			0	□受益 □基金	0 %	0 0 24, 862	
	換算人数(人)	■付去 □文:	<u> </u>	1 (0) E	0.7			0.7		= 19	云 口叉並 口坐:	並 口 (0) 地	0. 6. 230	7			0. 7 6, 230	
(10)人	工作 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 、 「 、				0			0					2, 55				2, 558	
事業費(3	第(決算)額+正職員人件費)				34, 405			31, 092					31, 09	2			31, 092	
		1	20 24千日	コノレ			18 29千円 / 人							-				
(事	^正 費用 業費/活動結果指標) ■業の評価 (DO+CHECK)	20. 24 千 F	円/人			18. 29千円/人											
(事	業費/活動結果指標)) 	20. 24千月	円/人	事前	前評価	18. 29千円/人				事後評	- 価(評価結果に	応じ、改善案		3))		改善検討	
(事	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK	高齢者が年々増加	1の一途をたと	どっている中	つで、高齢者が住る	み慣れた地域で	自立した生活を送れるように			確認での想定確認での想定	どおり		応じ、改善案		2))		改善検討	
2. [業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK	高齢者が年々増加	1の一途をたと	どっている中	つで、高齢者が住る	み慣れた地域で			〇②事前	確認での想定	どおり どおりでなかっ		応じ、改善案		3))		改善検討 ○要 ○不要	
2. [業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・	高齢者が年々増加対する介護サービ	1の一途をたと ごスの適切な損	どっている中 是供の最も基	ロで、高齢者が住。 基本となる資格管理	み慣れた地域で 理、認定情報管	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要:		○②事前	確認での想定 らりとした理E	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりで	たでなかった原因>		検討(拡充も含む			O要	
2. [1]	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・	高齢者が年々増加 対する介護サービ ●①民間企業、N (理由) ■法令等	1の一途をたと この適切な損 N P O、市民 で市が実施す	どっている中 是供の最も基 ・団体等では写 することが定	□で、高齢者が住。 基本となる資格管: 実施できない	み慣れた地域で	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要:		○②事前 <想定どま □①民間 □②市が	確認での想定 Sりとした理E 企業、NPO 主導で進めな	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければ実効性が	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった		検討(拡充も含む		由>	O要	
(1) 必 要	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	高齢者が年々増加 対する介護サービ ●①民間企業、N (理由) ■法令等	1の一途をたと えの適切な損 N P O 、市民! で市が実施す なが市しかな	どっている中 是供の最も基 ・団体等では写 することが定	□で、高齢者が住。 基本となる資格管: 実施できない	み慣れた地域で 理、認定情報管	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要:		○②事前 <想定どま □①民間 □②市が □③市が 促進	確認での想定 おりとした理E 企業、NPO 主導で進めな 先導役となっ された	どおりでなかっ とおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければ実効性が たことで市民へ	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層		検討(拡充も含む		曲>	O要	
(1) 必要性(2)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか?	高齢者が年々増加 対する介護サービ ①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主 □その他	Iの一途をたと この適切な損 NPO、市民に で市が実施す なが市しかな 3 る市が推進す	どっている中 是供の最も基 団体等ではま することが定 ない	□で、高齢者が住生 基本となる資格管理 実施できない Eめられている	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要 内容>		○②事前 <想定どま □①見間 □②市が に進 □④市の □⑤サー	確認での想定 の想定 いた理 のの想定 とした 業導導 を を き 導導れた 政準 と と 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければで市民へ 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		検討(拡充も含む		由>	О 要 О т	
(1) 必要性(2)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	高齢者が年々増加 対する介護サービ ●①民間企業、N (理由) ■ 法会等主 □ 足の他 ○②自治体である。 (理由) □市が実	Iの一途をたと Iの一途をたと I スの適切な損 I N P O、 市民 I で 市が 市しかな I る市が 推進す で 準 めるこ	どっている中基 世代の最も基 団体等では写 することが定 い べきによりよりよりよりよりよりよりよりよりよりは	□で、高齢者が住生 基本となる資格管理 実施できない Eめられている	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要 内容>		○②事前 <想定どま □①見間 □②市が に進 □④市の □⑤サー	確認での想定 のの想定 とし、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおり どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければ実っ たことで市民へ 施策の目標の実	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		検討(拡充も含む		曲>	〇要 〇不要	
(1) 必要性(2)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか?	高齢者が年々増加対する介護サービ ●①民間企業、等 □提表会は一世を表会は一世を表会は一世ののでは、である。 「理由」のでは、である。 「理由」のである。 「理由」のできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	1の一途をたとは スの適切な抗 NPO、実に で市が市 にながれ は進せるこるれ で連旋が推め供証さ になる。 ではない にない にない にない にない にない にない にない に	どっている中基 担保の最も基 関体等では対 することが定 ことにと ことにとによ ない	って、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている を対性が得られる	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要 内容>		○②事前 <想定どま □①見間が (児前が (児前が (児前が (児前が (児前が (児前が (児前) (児前) (児前) (児前) (児前) (児前) (児前) (児前)	確認での想定 のの想定 とし、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければで市民へ 施策の目標の実 保された	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		検討(拡充も含む		曲>	О 要 О т	
(1) 必要性(2)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか?	高齢者が年々増加 対する介護サービ ①民間企業、ト (理由) ■法代共 □ は、一 ②自治体市がある (理由) □ 市が □ 市が □ 市がす	1の一途をたとは スの適切な抗 NPO、実に で市が市 にながれ は進せるこるれ で連旋が推め供証さ になる。 ではない にない にない にない にない にない にない にない に	どっている中 是供の最も基 団体等では写 すること でありま ことにと ここるこ こより ひ策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対している と対している と対している	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要 内容>		○②事前 <想定どは □①1民間	確認では、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければとで たこと 施策の目標の実 保さ払齢が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた		検討(拡充も含む			О 要 О т	
(1) 必 要 性 (2)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか?	高齢者が年々増加対する介護サービ ●①民間配業へ下でである。 「理由) □ を表代表の (理由) □ にあったが主である。 「理由) □ にあったがままである。 「理由) □ にあったがにできます。 「日本の他	ロの一途をたとは Iの一途をたとなり I スの適の I スの適の I スのでもいった。 I でもがでも、 までもができる。 はなはことができる。 ではない。 ではない。 をはれる。 をはな。 をは	どっている中本 とはいました。 ではは写すないでありはました。 ことにといる。 ではいまり、 であり、 でのの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「個のの内容 「何のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対している と対している と対している	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要: 内容>		○②事前 <想定どは □①1民間	確認では、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、 市民団体等でければまで市民へ	たでなかった原因> は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	たく市実施	検討(拡充も含むの の具体的な内容・ 参加・協 の期待した以上	必要性の理		О 要 О т	
(1) 必要性(2) 参加· 市	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加対する介護サービ ●①民間企業、等 (理由) ■ 2 提供主	ロの一途をたとは、 ア・ロー・ では、 ア・ロー・ では、 では、 ア・ロー・ では、 ア・ロー・ では	どっているも基 ではまない べきにとい 政 を はま でが ありよいよい ない か 容 であらない か ない か	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要: 内容>		○②事前 <想定どは □①1民間	確認では、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければとで たこと 施策の目標の実 保さ払齢が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当初 〇②当初	検討(拡充も含むの具体的な内容・参加・協	必要性の理		○要 ○不要 ○ ○要 ○ ○不要	
(1) 必要性(2) 参加· 市	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加対する介護サービ ●①民間企業、N (理由) ■ 法快告 □ 日本の他 ○②自治体である (理由) □ 市が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。 □ 中部が・サービーです。	ロの一途をたと技いでは、	どっているもを でというでは、 でというでは、 でというでは、 でというでは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でものでは、 でもでは、 でもでは、	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要: 内容>		○②事前 <想定どは □①1民間	確認では、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければとで たこと 施策の目標の実 保さ払齢が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	検討(拡充も含むの の具体的な内容・ が加期待した以上の が開待したとおり の期待以下	・必要性の理		○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要	
(1) 必 要 性 (2) 参加·協納	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●②民間 ●②定法快生の ○②自治 「一 本 か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま で が 現が	ロの一途をたと技いである。 では、	どっているもを でというでは、 でというでは、 でというでは、 でというでは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりは、 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でもりない。 でものでは、 でもでは、 でもでは、	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要: 内容>		○②事前 <想定どは □①1民間	確認では、	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければとで たこと 施策の目標の実 保さ払齢が確保さ	たでなかった原因> は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	検討(拡充も含むの の具体的な内容・ が加期待した以上の が開待したとおり の期待以下	・必要性の理	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(1) 必要性(2) 参加· 市	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加対する介護サービ ●①民間企業、等等注 □日本法提供をの他 ○②自治□□市がが「するがです。 □であるでがが「でするがです。 □では、でかがです。 □では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	1の一途をたた技 N P O 、実し 下で体	どっている中基 では定 でから でから でから とこと り 政 容 の 内 り り り い る に し て い る に し で か な り い の 内 有 有 内 り し て い る に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 のの た と し に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で 、ければとで を関する を にいる 、市民団体が性が たった を にいる を にいる を にいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したとおり の期待したとおり の期待したとおり	・必要性の理	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(1) 必要性(2) 参加· 市	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●②民間 ●②定法快生の ○②自治 「一 本 か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま と で か ま で が 現が	ロの一途をたとは、 N P O 、実しかなな。 下で体が、実しか推め供証とは、 を定えばといる。 を定えばといる。 を定えばといる。 を応えている。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えばといる。 を応えば、はいる。 を応えば、はいる。 を応えば、はいる。 をできまする。 をできまする。 をできまする。 をできます。 をできまする。 をできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	どっている中基 とっている中基 は は は は は は な な な な は は な な な と こる な こ な の の 内 の り り り い の る	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要: 内容>		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 のの た と し に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で ければとで たこと 施策の目標の実 保さ払齢が確保さ	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	検討(拡充も含むの具体的な内容を 参加・協力期待したとより の別期待したとより のの期待以下 た以上となった到	・必要性の理	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. (1) 必要性 (2) 参加・協働の工夫 環境	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●①民間 ●②民間 ●②定法提供の他の会議提供の他の内容 ○②事業 ● □ □ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	1の一途をたた技 の一途を切ったを打った。 下で体	どっている中基 と	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 のの た と し に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で 、ければとで を関する を にいる 、市民団体が性が たった を にいる を にいる を にいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 OT当当 O(2)当当 A(3) (期待し O(2)想定 O(2)想定	検討(拡充も含む 検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したたとより の期待はしたととなった到 た以上となった到 た以上となった到 こどおりでなかっ	・必要性の理 動の程度・F 建由/期待以 境への配慮 た	内容	○	
2. (1) 必要性 (2) 参加・協働の工夫 環境	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●②民間 ●②定法供の 他 で が が に 支 で が 現が に 受 を を で が が に 支 で が 現が に 支 で の ② 事 業 半 の と し ○② 申 市 そ の 他 し で も 立 の ② 事 な き と せ で が 現が し で も こ で も さ に で も さ に で は で か ま さ に で か ま さ に で か ま さ に で は で か ま さ に で は で か ま さ に で は で か ま さ に で は で い で い は ら い で は い で は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い で い は い は	1の一途をたた技 の一途を切ったを打った。 下で体	どっている中基 と	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 のの た と し に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で 、ければとで を関する を にいる 、市民団体が性が たった を にいる を にいる を にいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 OT当当 O(2)当当 A(3) (期待し O(2)想定 O(2)想定	検討(拡充も含むの具体的な内容・参加・協力期待にしたとというのの関係を対したというのの関係を対したというのの関係を対した。	・必要性の理 動の程度・F 建由/期待以 境への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
2. (1) 必要性 参加·協働の工夫 環境へ 環境へ	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を しているか? 制づくり)	高齢者が年々増加ビ ●①民間■企業会を持ている。 (理由) □□には、「等主性ののでは、「等主性ののでは、「等生性ののでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、」は、「等性の、」は、」は、、」は、、」は、、」は、」は、、」は、、」は、、」は、、」は、、	の一途をたた技術である。 この一途を切り 下になり では、	どっている中基 と	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のP	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 のの た と し に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等で 、ければとで を関する を にいる 、市民団体が性が たった を にいる を にいる を にいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる はいる は	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 OT当当 O(2)当当 A(3) (期待し O(2)想定 O(2)想定	検討(拡充も含む 検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したたとおり の期待はしたととなった到 た以上となった到 た以上となった到 こどおりでなかっ	・必要性の理 動の程度・F 建由/期待以 境への配慮 た	内容	○	
2. (1) 必要性 (2) 参加・協働の工夫 環境	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を しているか? 制づくり)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ■②に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロの一途をたた技 の一途を切ったでは、 下では、 下では、 下では、 下では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	どっているもと できにという でよい からない からない からない からない からない からない からない からな	で、高齢者が住 を本となる資格管 実施できない とめられている と対性が得られる し、良質で安定した 施策の目標の	み慣れた地域で 理、認定情報管 <その他のF	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要が 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確 お の た 主 先 さ も り よ で し の に で し に で に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	どおりでなかって、けたでは、	たでなかった原因>は実施できなかっな音及が一層現に貢献したれた	た <市実施 O①当当 N	検討(拡充も含む 検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したたとおり の期待はしたととなった到 た以上となった到 た以上となった到 こどおりでなかっ	・必要性の理 動の程度・F 建由/期待以 境への配慮 た	内容	○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 品の参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 危に配慮して事業を進めて たか?	高齢者が年々増加ビ ●①民間■企業会を持ている。 (理由) □□には、「等主性ののでは、「等主性ののでは、「等生性ののでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等生性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、「等性のでは、」(「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、「等性のでは、」()は、「等性のでは、」は、「等性の、」は、」は、、」は、、」は、、」は、」は、、」は、、」は、、」は、、」は、、	の一途をたた技術である。 この一途を切り 下になり では、	どっている中基 と	で、高齢者が住生 さま本となる資格管理 実施できない。 を対し、という。 での目標の で安定して、 施策の目標の	み慣れた地域で理、記定情報管 <その他のP <その他のP た	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック でき設定している		○②事前 <想定どは □①見間 同のである。 □②市が 仮市が 仮の □③ 中の □⑤ 中の 回⑥	確認 と	どおりでなかって 日	たでなかった原因〉は実施できなかっなかった普及が一層現に貢献したれた	た <市実施 OT当当 O(2)当当 N(3) (期待し O(2)想 (想定 ど	検討(拡充も含む 検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したたとおり の期待はしたととなった到 た以上となった到 た以上となった到 こどおりでなかっ	・必要性の理 動の程度・F 建由/期待以 境への配慮 た	内容	○要の不要要 ○の不要要要 ○の不要要要	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を しているか? 制づくり)	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ■②に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロの一途をたた技 の一途を切ったでは、 下では、 下では、 下では、 下では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	どっているも を は は 定 で が よい よ	□で、高齢者が住生をない。 まなとなる資格管理を表している。 ■②の現現には、 ■③のでは、 ■③のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	み慣れた地域で理 、 は で で は で で で で で で で で で で で で で で で	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要が 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック がき設定している い値ではない なない	がある。	○②事前 <想定どは □①名前が進 □②のである。 □③のでは、 □③のでは、 □④のでは、 □●のでは、	確認 と	どおりでなかっ は 対象 では が は で が かっ は で が かっ は で が かっ は で が は で な かっ は で が な に が な に が な に が な は な は な は な な は な は な は な は な は な は	た でなかった原因 > は実施できなかった	た <市実施 O①(1)当当当 O②(2)当当 O(2) は想定 <規定と <規定と	検討(拡充も含む 検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期待したたとおり の期待はしたととなった到 た以上となった到 た以上となった到 こどおりでなかっ	・必要性の理 の程度・F 理由/期待以 境への配慮 た 原因〉	内容	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で ○ で	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 品の参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 危に配慮して事業を進めて たか?	高齢者が年々世別では、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	O C C C C C C C C C	どっているもま では でか でか でか でか でか でか でか でか で ありよ 策 で が で ありよ 策 か の 内 の 内 の りり り し で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	□で、高齢者が住生をない。 またとなる資格管理を表している。 ■では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	み慣れた地域で理、記念性情報管 マ実施を表しては、 を表しては、 を表しては、 ないます。 「は、 ないます。 は、 ないまする はいまする はいま	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック でき設定している 値ではない はない 比較対象例における目標値(がある。	○②事前 <想定どは □①名前が進 □②のである。 □③のでは、 □③のでは、 □④のでは、 □●のでは、	確認 理 P O か	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等性がへ 、市民団実で 目標の 関連を対象 では、 一部では、 一語では、 一語では	た でなかった原因 > は実施できなかっ ななかった	た <市実施 O①当当 ** O②3 **	検討(拡充も含む の具体的な内容を 参加・協 の別期待待したした可 の別期待待となった理 ほどおりでなかった原 なとなった原因〉	・必要性の理 を ・	内容 下であった原因>	○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) (1) (1)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 品の参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 危に配慮して事業を進めて たか?	高齢者が年々世別では、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「等主体のでは、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	コの一途をたた技 一途のでなり、実しい。 下で体というでは、は、のののののでは、は、では、は、では、は、では、は、では、は、では、は	ど是供 団すない べとこる () でが ありよ () でが あり () でが	で、高齢者が住きない。 高齢者資格を記します。 実施でいる。 意効性性質ではない。 意効性性が得では、 意効性性が得では、 意効はという。 意味ののはなどという。 意味ののでは、 意味ののできない。 意味のできない。 を、 意味のできない。 意味のできない。 意味のできない。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	み慣れた地域管 「人を表現れた地域管管 「人を現れた地域でである。」 「大を構造している場合では、 「大を表がかがる」 「大きないる場合でする。」 「大きないでする。」 「大きないできないでする。」 「大きないでする。」 「大きないできないでする。」 「大きないできないできないできないできないできないできないできないできないできないで	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要: 理を適切に把握しておく必要: 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック うき設定している 値ではない はない と比較対象例における目標値((を施予定の対策 □⑤PFI等民間資	がある。 と現況値の差) と	○②事前 <想定どは □①名前が進 □②のである。 □③のでは、 □③のでは、 □④のでは、 □●のでは、	確	どおりでなかっ ・ 対事業費(%)	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に貢献した れた マ (又は今後、は (本) で (た	検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期間を持いた下した以上となった 理 を と は な と な な と な な な な な な な な な な な な な	・必要性の理 ・必要性の理 ・ は	内容 下であった原因> 意について	○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を制づくり) 最に配慮して事業を進めて 着に配慮して事業を進めて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高齢者が年々増加ビ ●① (理由) □ (型) □	O 一途を	どっているもも と で は で が で ありに	で、高齢者務格管: 「本本となるを表す。」 「本本となるを表す。」 「本本となるを表す。」 「本本となる。 「本本となる。」 「本本とない。 「本本本とない。 「本本とない。 「本本とない、 「本本とない。 「本本とない、 「本本とないい、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とないい、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とないい、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とないい、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とない、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、 「本本とないい、	み慣れた地域で管 くその他のP くまが象ある 度対がある 度対がまある 度対応	自立した生活を送れるように 理を適切に把握しておく必要。 内容> エ夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック のを設定している い値ではない なない 比較対象例における目標値(を施予定の対策	がある。 と現況値の差) と	○②事前	確	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、市民団体等性がへ 、市民団実で 目標のまた。 施策のまた。 をできる。 をできる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因 > は実施できなかっ	た	検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の別期待した以上 の別期待した以と下 の以上となった 環 ことどおりでなかった ほとどおりでなかった の以上 ないった の以上 ないった の以上 ないった のので のので ないった のので のので のので のので のので のので のので のので のので のの	必要性の理 ・	内容 下であった原因>	○ 要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ 要	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) RO参加や市民との協働を としているか? 制づくり) 危に配慮して事業を進めて るか?	高齢者が年々増加ビ ●① (理由) □ (型) □ (型	コの一途をたた技 一途のでなり、実しいます。 下で体というでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでのでは、は、のでのでは、は、のでのでは、は、は、は、	どっているもも は定 で が ない で で が で が で が で が で が で が で が で が で が	で、高齢者が住生をない。 高齢者を含めている ことをない。 ことをない。 ことをない。 こので、高齢者を含めている ことをない。 こので、高齢者を含めている。 こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、	み慣れた地域で管 くその他のP くまが象ある 度対がある 度対がまある 度対応	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要: 理を適切に把握しておく必要: 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック がき設定している いにない にない。 比較対象例における目標値(・ 関係を表現してはない。 にない。 とを表現している のののではない。 とを表現している ののではない。 とを表現している ののではないる のので	がある。 と現況値の差) と	○②事前	確 S り と L 主先さ支ビビ他 D ト	どおりでなかっ ・ 対事業費(%)	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に貢献した れた マ (又は今後、は (本) で (た	検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の期間を持いた下した以上となった 理 を と は な と な な と な な な な な な な な な な な な な	必要性の理 ・	内容 下であった原因>	○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 (2) 市工、(体 環い (1)	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加や市民との協働を制づくり) 最に配慮して事業を進めて 着に配慮して事業を進めて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●①民間 ●②と **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **	コの一途をたた技 一の適のでは、 下で体 る 導施ス援図 と	どっているもも は定 で が ない で で が で が で が で が で が で が で が で が で が	で、	み慣れた地域で管 くその他のP くまが象ある 度対がある 度対がまある 度対応	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要: 理を適切に把握しておく必要: 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック がき設定している いにない にない。 比較対象例における目標値(・ 関係を表現してはない。 にない。 とを表現している のののではない。 とを表現している ののではない。 とを表現している ののではないる のので	がある。 と現況値の差) と	○②事前 <想定とは □①②市が進の □③の中央の □⑤・サーー □○・マーの他の 実績値(f) 実績値(f)	確 S り と L 主先さ支ビビ他 D ト	どおりでなかっ ・ 対事業費(%)	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に貢献した れた マ (又は今後、は (本) で (た	検討(拡充も含む の具体的な内容・ 参加・協 の別期待した以上 の別期待した以と下 の以上となった 環 ことどおりでなかった ほとどおりでなかった の以上 ないった の以上 ないった の以上 ないった のので のので ないった のので のので のので のので のので のので のので のので のので のの	必要性の理 ・	内容 下であった原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(事業) (日本) (日本) (日本)	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) 民の参加やるか? 制づくり) 危に配慮して事業を進めて 危い? 目標設定は適切か? 事業費削減の工夫をしているか?	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●①民間 ●②と **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **	「「「「「「」」」」	どうけない べとこる () でが ありは 年本 は は で が ありは 策 で が ありは 策 で が ありは 策 で が ありは 策 の の りりりして いる () () () () () () () () () (で、	み慣れた地域で管 くその他のP くまが象ある 度対がある 度対がまある 度対応	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要: 理を適切に把握しておく必要: 内容> 工夫の具体的な内容 取組む内容 の妥当性のチェック がき設定している いにない にない。 比較対象例における目標値(・ 関係を表現してはない。 にない。 とを表現している のののではない。 とを表現している ののではない。 とを表現している ののではないる のので	がある。 と現況値の差) と	○②事前 <想定とは □①②市が進の □③の中央の □⑤・サーー □○・マーの他の 実績値(f) 実績値(f)	確 S り と L 主先さ支ビビ他 D ト	どおりでなかって	たでなかった原因〉 はな実施できなかった 層現にできなかった 層現にたれた マーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマ	た <市実施 <市実施 <市実施 < 市実施 < 市実施 < 市実施 < 市実施 < 市 < 市実施 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市 < 市	検討(拡充も含む が	必要性の理 ・必要性の理 ・ の程度・ p	内容 下であった原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) (2) 市工(体 環い (1) (2) (3)	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由 ・ するの必要性) 市が実施での必要性はある実施の必要性) の参加やあった。 に記慮して事業を進めて 最に記慮して事業を進めて 自標に記慮が? 目標にる事業を進めて 自標値を事業費はある。 は応えか?	高齢者が年々増加ビ ●①日民間 ② (理由) □ (型)	100 一途を	どきにという では で で が まい ま で が で が で が で が で が で が まい よい ま な で が で が まい よい ま な で が で が まい よい ま な で が で が まい は な で が で が ない は な で が まい は な で が で が い か 内 容	で、高齢のではない。 本本とない。 本本とない。 高齢ののではない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本との較単では、 一つで、 まない。 本本との数単のでは、 はいの数単のでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいのでは、	み慣れた地域で 中理、	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要がある。 「中容」 「中	と現況値の差)と本の活用	○②事前 <想定 は 「日本のでは 「「日本のでは 「日本のでは 「	確 らり と した で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかって	たでなかった原因〉 は実施できなかっ 音 現に	た マ 市実施 マ マ 市実施 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	検討(拡充も含む が	必要性の理 ・必要性の理 ・ の程度・ p	内容 下であった原因> 酸について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) (2) 市工(体 環い (1) (2) (3)	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性) 市が実施の必要性は あるか? の参加やるかの必要性) この参加やある。 この参加やあい。 このを表し、	高齢者が年々増加ビ ●①民間 ●①民間 ●②と **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **・ **	100 一途を	どきにという では で で が まい ま で が で が で が で が で が で が まい よい ま な で が で が まい よい ま な で が で が まい よい ま な で が で が まい は な で が で が ない は な で が まい は な で が で が い か 内 容	で、高齢のではない。 本本とない。 本本とない。 高齢ののではない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本とない。 本本との較単では、 一つで、 まない。 本本との数単のでは、 はいの数単のでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいののでは、 はいのでは、	み慣れた地域で 中理、	自立した生活を送れるように理を適切に把握しておく必要: 理を適切に把握しておく必要: ない。 ないはない。 比較対象例における目標値(の要当性の対策 ロ⑤ PF I等民間資 ロ⑥ 受益を地の対策 ロ⑥ ではない。 はないる。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない	と現況値の差)と本の活用	○②事前 <想定 □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □□③電子 は □□⑤サーーので ○である。 「実績値(1) 「実績値(2) 「実績値(2) 「実績値(3) 「実績値(4) 「実績値(5) 「大田 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	確 らり と した で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、けた 特性が (た でなかった原因 > はな音の	た マ 市実施 マ マ 市実施 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	検討(拡充も含む が	必要性の理 ・必要性の理 ・ の程度・ p	内容 下であった原因> 酸について なかった った原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) (2) 市工(体 環い (1) (2) (3) (3)	業費/活動結果指標) 事業の評価 (DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由・ 背景は? (事業の必要性) 市が実施の必要性はある実施の必要性はある実施の必要性はある実施の必要性が この参加やるか。 この参加やるか。 この参加やるか。 この参加やるか。 この参加やるが。 この参加やなが、 このを表しなが、 このを	高齢者が年々増加ビ ●① (理由) □□ (型)	100 一途を	どっているもも は定 で で が な	で、	み慣れた地域で管 (自立した生活を送れるように、理を適切に把握しておく必要。 「中ででは、	と現況値の差)と本の活用 費用単位/事業費	○②事前 <想定 □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □□③電子 は □□⑤サーーので ○である。 「実績値(1) 「実績値(2) 「実績値(2) 「実績値(3) 「実績値(4) 「実績値(5) 「大田 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	確 らり と した で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、けた 特性が (た でなかった原因 > はな音の	た マ 市実施 マ マ 市実施 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	検討(拡充も含む が	必要性の理 ・必要性の理 ・ の程度・ p	内容 下であった原因> 酸について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(1) 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 (1) (2) 市工(体 環い (1) (2) (3) (3)	業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK 評価項目 事業が今必要である理由 ・ するの必要性) 市が実施での必要性はある実施の必要性) の参加やあの実施の必要性はある実施のものでいり) ここのでは、は、適切ができません。 ここのでは、は、では、できません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのできないできません。 ここのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	高齢者が年々増加ビ ●① (理由) □□ (型)	100 一途を	どっているもも基 ではいいる。 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で、	み慣れた地域で 中理、	自立した生活を送れるように、理を適切に把握しておく必要。 「中ででは、	と現況値の差)と本の活用 費用単位/事業費	○②事前 <想定 □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □③電子 は □□③電子 は □□⑤サーーので ○である。 「実績値(1) 「実績値(2) 「実績値(2) 「実績値(3) 「実績値(4) 「実績値(5) 「大田 に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	確 らり と した で に で に で に で に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	どおりでなかっ 由/想定どおりで 、けた 特性が (たでなかった原因〉 はな音のできなかった 層 現 に できなかった 層 現 に た に た に ス は 今後、 は く の 内 容 と で で と で で と で で と で かった	た マ 市実施 マ マ 市実施 マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ	検討(拡充も含む の具体的な内容を をたたな内容を したたと下った 現場のの以上となった でなかった のでなかった のでなかった のでなかった のでなかった のでなかった のででなかった のでなかった 原本では ないった のででなかった 原本では ないった のでである では ないった のでは	必要性の理 ・必要性の理 ・ の程度・ p	内容 下であった原因> 酸について なかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

東 八 牙	ランク ニード	543			課コード		事物争未計Ⅱ 	山 4文 (特別会計			予算の	· 廷 怀	■政策 ■経常	ロなし	
		543			誄コート		0508	云 云 云 云 云 云 云 云 云 云	別 介護保険	特別芸訂			→ 予昇0.)俚辩 ┃	■ 政東 ■ 経常	口なし	
1. }	事業の概要(PLAN)		甘士市坐	人类归除虫	中の冷切り										ı		
		①事業名	基本事業個別事業	介護保険制	度の適切な運用 査				実施計画 位置づ		•	有 〇無	(②部課名	健康福祉部・高齢者支	援課	
		③事業主体	●市	〇その他) ④対象地区		□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐 ■全市		
(1)事業	类概要	⑤事業期間			平成	12年度 ~			⑥担当職員		当 初)	134	6 人	(換算人数 (うち人件費	1.19 人)	1	
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円			当該(開始) 年度 ——	変更後)	101,	千円	(うち人件費	千円:		
		⑧施策の位置づけ	施策コード		34001		プロジェクト)位置づけ	重点なし	基本計画は計画への位		C)有 ●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名) 第8期介護	保険事業計画は	
		施策目的・	介護保険制			 ロ座振替やコンビニ約	朝付など保険料の納付方:		利便	支				ビスの利用をスム	<u> </u> .一ズに行えるよう、要介		
(2)目的	ሳ	展開方向	す。また、	サービスを	必要とする人に	適切なサービスが提信	を実施することで、保険 共できるよう、要介護者	の状況に合わせた認	定と	の·	個々の状況	にあわせた情報提供	共・アドバイ	スを行います。	ス利用に至るまでの流れ		
			また、認知	定期間満了が	「近づいた者には	満了のお知らせ(満つ	病院・施設などに赴き介 了の約85日前)し、介護	支援専門員を通じた	更新	作	成の依頼・	授受。新規調査にお	おいては、申	請から14日以内に	に対する認定調査の実施 認定調査を実施。更新調	査は、認定期間	
			護認定の過	商正化に向け	け、市内居宅介護	支援事業所所属の調査	・認定にスムーズにつ 査員に対し、研修会への	参加、eラーニング	シス 執行計	画 意	見書未着や	審査会開催日等の理	里由で申請か	ら30日以内に認定	および市内外居宅支援事業 結果の通知できない方に	延期通知書を説	
(3)事業	美内容	内 容	いく。増加	加する認定申	請への対応とし	て、調査業務委託や記	を票記載や調査のあり方。 関査員の育成と合わせ、	ICTの導入(タブレ	ット	内	、個別指導	の実施。訪問調査モ	Eバイルシス	テムの導入。	業者を対象とした研修会		
						める甲請日から30日! 行うとの国の定めあ!	以内の認定に向け、14日 り)。	以内の調査実施に発	ろうちょう 当該年 活動結果		定者総数/0	00人 申請総件数	牧/200件(延	~)	単位 件	定値 7 遺値	
(4) 達成	戊目標(期待する成果)				達成目	標(期待する成果)			指標種	類		指	標		単位 (5)現況		
当該	亥年度	申請日から30日以							直接			日以内に認定調査を			%	75	
令和	口 4年度	申請日から30日以	内に認定結果	果を通知する	5 .				直接	申	請日から14	日以内に認定調査を	を実施した割	合	%		
令和	口 5年度	申請日から30日以							直接	申	請日から14	日以内に認定調査を	を実施した割	合	%		
(7)事業	美実施上の課題と対応	の授受が難しくな	っている。	医療機関や福	冨祉施設との連携	により、申請及び調	理由から、主治医意見書 査時期の適正化を図り、			食討	C)有 ●無					
		新規調査員の育成、	<u>、ICTの導入</u> 令和 2		いく。2. 認定	周査に係る事務全般の	スリム化を図っていく。 令和 3年度				令	和 4年度		T	令和 5年度		
		政	内 容	- 1 2	金額(千円)	政	内容	 	央算額(千円) 政			容	金額(千円)	政策	内容	金額(千	
		· 办辦初中細本曲	В		41 006	東	3	45 150	宋.	小拼罚中 细	本弗		45 15	*	本典	45	
		介護認定調查費 会計年度任用職 (12名)		査員)	41, 906 45, 975			45, 150 57, 897		介護認定調 会計年度任 (15人)	金費 :用職員(認	定調査員)	45, 15 57, 89		会計年度任用職員 (認定調査員)		
		(12名) 会計年度任用職 (3名)	裁員(認定事	務)	6, 794	(15名) * 会計年度任用職 (3名)	員(認定事務)	6, 759			用職員(認	定事務)	6, 75		用職員(認定事務)	6	
	実施内容	: (3名) 臨時認定調査員 : (31年度分・雇)			13			15		(3名) 研修旅費 (7名)			1	5 研修旅費 (7名)			
(8) 施行		は1年度ガー度 臨時事務補佐員 (31年度分・雇)	l		8				システム保	ム保守			2 システム保	守	1		
	д л	* 会計年度任用職	號員報酬 (認		1, 154 62			1, 707									
		*:会計年度任用職員費用弁償(") (3名・9月補正) 事務用品購入(9月補正)) 62 :タブレット型端末 (5年保証) 15台 1,707 タブレット型端末付属品15台分 458 :電源キャビネット (1台) 262											
		: タブレット型端: 電源キャビネッ		2, 838 94	プリンター (1	台)	88 1, 249										
						システム導入・システム保守(作業	10, 340 438									
						77744	(1 0 7 7)	400									
	予算(決算)額 国庫支出金		計	0 %	98, 844		th 計	124, 363	*	甫助率	合 計	0 %	111, 57	3	合 計 0 %	111	
	県支出金	補助率		0 % 0 %		補助率	0 % 0 %	0	i	開助率 計助率 公当率		0 % 0 %		0 補助率 0 充当率	0 % 0 %		
(9) 財源	京内訳 一般財源 その他の財源	■特会 □受益	二 全 二 二		98. 844)	益 □基金 □その他	124, 363			□受益 □其余	金□その他		0	□ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	111	
	換算人数(人)	=19A CX			1. 19			1. 19		-1722			1. 1	8			
(10)人	件實等 嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				(0					52, 65	0			
,,	予算(決算)額+正職員人件費) 位費用		18.83千	m //4	109, 197		18.74千円/件	134, 954					122, 07	5		111	
	事業費/活動結果指標) 事業の評価 (D0+CHECK	<u> </u>	10.03	H / 1H			16. 74十円 / 14										
۷. ۱	評価項目	, 			車 :						車 谷 評	価(評価結果に原	さい 小美安	 	1	改善	
	計画項目	高齢化が急激に進る	む中で、要か	介護者等にな			尊重しながら、住み慣れ	た地域で自立した	○①事前確認で			一川(計川和木))	心し、以音采	快的 (加力も含む	17 7	以当	
(1))事業が今必要である理由・	│日常生活を営むこ。 │より在宅生活を継続				そのために、個々の		○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>						O 5			
	背景は?(事業の必要性)								<想定どおりと	した理由/セ	想定どおりて	でなかった原因>				07	
, -		〇①民間企業、N				<その他の内容>					は実施できなかった	た <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由>			
必要			体が市しかれ		Eめられている				□②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層 促進された								
A-4L)市が実施する必要性は	□その他				/2 n /h n n n n	□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された			現に貢献した							
	あるか? (市実施の必要性)	●②自治体である (理由) ■市が主	導で進めるこ	ことにより実	ミ効性が得られる				□⑥サービスの			れた				O 5	
		サービ	スが保証され	hる)、良質で安定し	Ts.			□⑦その他 <その他の内容	>							
			図られる	- より以朿・	施策の目標の												
		. 口ての他	参加・協	働の内容			工夫の具体的な内容					容(又は今後、 はその内容)		参加・協	働の程度・内容		
参		○①事業計画時に ○②事業実施時に					間事業所へ認定調査業系 の調査への立ち合い希望			JA 5/	∪^97 □ I - I			初期待した以上 の期待したとおり			
加一市	民の参加や市民との協働を	○②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的	市民の参画	有り		0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	、就労のある家族の調査への立ち合い希望に対応できている。							初の期待以下		O	
	夫しているか? 体制づくり)	●⑤市民と共同で ●⑥その他									<期待し	た以上となった理	由/期待以下であった原				
工 夫		<その他の内容>															
		□①白好理按≠□	配慮の	- 1507111		炒にか !		実施した具体的な内容			O/1\±85		竟への配慮				
環		□①自然環境を生 □②生き物と共存	すしている	•		特になし								きどおり きどおりでなかっ;	te		
	境に配慮して事業を進めて るか?	□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他		いる									<想定ど	おりでなかった原	(因>	0 5	
配慮		■⑤その他 <その他の内容>															
		くその他の内容/ 特になし															
		現況値(a)(%)	目標値(b		-0+1-1		当性のチェック		j	成状況		〇①目標値達成 〇②目標値未達					
(1))目標設定は適切か?			1	□②現況値と比べ	①客観的なデータ・事実に基づき設定している ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない					t率(%) b×100)			成となった原因>		05	
		75	75		□④適当な比較対		対象例における目標値(と現況値の差)と								07	
		対策実施によ	 る事業費削		同等の水準で		定の対策		身	 尾施状況		〇①想定事業費		事業	費の削減対策について		
効		事業費(c)(千円)	事業費削		■①国・県助成制 □②現有体制での		□⑤ P F I 等民間資 □⑥受益者負担	本の活用	実績値(g)(千円		業費(%) c)×100	○②概ね想定事○③想定事業費		○①事前の想 ○②事前の想	定どおり 定どおりでなかった		
率 (2)事業費削減の工夫をして	134, 954	Δ25,	757	□③維持管理費6 □④民間委託		口⑦その他			.8/ 0					減できなかった原因>	O	
性	いるか?	事業費削	減率(%)		(削減の内容>				<超過理由等>							07	
		Δ2	3. 59														
			目標値対事:	業費(e)			 計算方法		곀			O①目標値以上		 標値以上となった	理由/目標値以下であっ	た原因>	
(3))目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か?			単位	費用単位		日標値×費用単位/事業 :(目標値-現況値)×費		実績値(h)	対目権	標値(%)	O2目標値と同 O3目標値以下	程度			O 5	
	(目標対費用)	0.06		%	10万円	○必核数平度の指標		実績値 (h) (h/e) × 100 (3)目標値以下				F					
3. 1	事後評価																
						○ 吉坐 インロナー	へるの仏/声类ウスか										
〇現	状どおり推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止		〇事業手法見直し	〇その他(事業完了な	(E)									
○現	状どおり推進 O拡充	〇縮小	〇結合	○休止 評価コメ		〇事業于法見直し	○ての他(争未元]な	(E)				改善策.	及び展開方向]			

康式第3号 ————————————————————————————————————						•	事務事 業評	恤表(令 7	引る手	<i></i>							
事業コード		2188			課コード		0508	会計	種別 介	↑護保険特別:	会計		予算6	の種類 ■	■政策	■経常 □	コなし
1. 事業の	概要 (PLAN)																
		①事業名	基本事業	#	/+ + 1 + + / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#				単施計画への 位置づけ		〇有 〇無		②部課名	健康福祉部・	高齢者支援課	
		③事業主体	個別事業	生活支援・	体制整備事業の推進 他(<u>售</u>				対象地区	□我孫子	□天王台	□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要		⑤事業期間			令和:	2年度 ~			6担	旦当職員数			8 人	(換算人数		1.3 人)	
(1) 爭未恢安		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円				該(開始)年度	(当 初)	12,	953 千円	(うち人件費	11, 5	570 千円) 千円)	
			施策			電店	プロジェクト		#:	本計画地区別	11		TH	部門別計画への			
		⑧施策の位置づけ	コード		33201	~0	D位置づけ	重点 5	計画	国への位置づ	(†	○有 ●無		位置づけ		8期介護保険事	
(2)目的		施策目的 · 展開方向					きるよう、身近な場所で で支えられるよう、地域			事業目的		₹・分野ごとの縦割り ∮画し、人と人、人と					
		展開 月 円					見守り体制(地域高齢者 ている。そんな中、これ					tをともに作っていく 養体(市全体)及び第					
(3)事業内容		内 容	さえさればないのでは、 の、 かもりできる はいの できる はい の できる	D機能は低いの機能は低いの民活1がます。 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	下していくと考えら を、地域の特性に会見えてきた制度の 等、地域を構成する 協議体及び中学校 、地域課題を解決する と相談機関、市民国	られる。弱体化しつつ合わせて構築している合わせて構築している 機割りい、支援の隙間をあいる主体が連携をあいる主第2層協計でといる。 あらいるできないのである。 するためのネッとの標準 対している。 があるないである。 があるないである。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい	つある地縁、血縁といっく必要がある。地域の中を埋めるため、専門職だい、議権体を設置している。を 着体を設置している。され 一分化を図るために、。 もし役を担っていく。。 一クの組織化を行う。	った機能を補完し、 中で見えてきた福祉 どけでなく、地域住 けめの場として、「 さらに、地域ニーズ 生活支援コーディネ	新たな 課題やNP 5全域会 とイン・	当該年度 執行計画 当該年度 5動結果指標	○生活支援サ ○市内の社会 ○〈政策〉高 みである「包 ットワークの 協議体会議の	○第1層協議体(市全体)及び第2層協議体(6地区)の会議体運営 ○生活支援サービスを実施する団体の意見交換の場である地域ささえあい交流会の開催 ○市内の社会資源をまとめた情報冊子「高齢者のための日常生活困ったときガイド」のICT化 ○〈政策〉高齢者支援課内に生活支援コーディネーターを1名配置し、地域全体で支え合う。 みである「包括的支援体制」の整備に向けて、各種相談窓口と第1層・第2層の協議体及び・ットワークの連携を強化する。 協議体会議の開催回数(第1層 第2層) 単位 回 単位 埋位 埋位 埋位 実績値					
(4)達成目標(期	待する成果)	生活支援に関する	協議・活動が	が活発に行		票(期待する成果)	、新たな生活支援サート	ビスが提供されてい		指標種類	生活支援体制	指 担 担 担 担 担 担 担 担 担		層協議体による会	単位 単位 三	(5) 現況値	(6)目標(
当該年度							、新たな生活支援サート			間接	回数	整備事業による第 1			E# 88 /W	19	
令和 4年度							、新たな生活支援サート			間接	回数	整備事業による第1			E	+	
令和 5年度							び第2層協議体の仕組み			間接	回数	『正開学末による方	「信及び免2	- 信 励践 仲に みる五	議開催 回		
(7)事業実施上0	D課題と対応	域の福祉課題を把	握している語				び弟2暦協議体の仕組 <i>を</i> 援窓口との連携が不十分			代替案検討		○有 ●無					
		しと強化が必要で	<u>ある。。</u> 令和 2	年度			令和 3年月	变			<u> </u>	↑和 4年度			令和 5	5年度	
		政策	内 容		金額(千円)	政		予算額(千円)	決算額(千円	円)	内	容	金額(千円))	内 容		金額(千円
		生活支援体制整	è備事業委託	料 第1層	分 872		· 	分 673				美委託料 第1層分	8	75 生活支援体	制整備事業委託	料 第1層分	7
(8)施行事項	実施内容 費 用	(1箇所) 生活支援体制素 (5箇所) * 生活支援体制素 (1箇所)				(6箇所)	(備事業委託料 第2層タ (ジステム設置委託料	86		生活	商所) 支援体制整備事 業 育所)	美委託料 第2層分	6:	24 生活支援体	制整備事業委託	· 第2層分	6
	予算(決算)額		計		1, 502		à <u>‡</u> †	1, 383			合 言		1, 4		合 計		1, 3
	国庫支出金 県支出金	補助率 補助率		38. 5 % 0. 25 %	578 289		38. 5 % 19. 25 %	532 266		補助率 補助率		38. 5 % 19. 25 %		77 補助率 88 補助率		0 %	5 2
(9) 財源内訳	起債 一般財源	充当率		0 %	290	充当率	0 %	0 267		充当率	<u> </u>	0 %		0 充当率 89		0 %	2
	その他の財源 換算人数(人)	■特会 □受益	益 口基金 口]その他	345 0, 3	■特会 □受益	益 □基金 □その他	318 1. 3		■ ‡	持会 □受益 □基	金 口その他	34		□受益 □基金 □	□その他	3
(10) 人件費等	正職員人件費				2, 610			11, 570					20, 4	70			20, 4
	嘱託職員報酬額 臨時職員賃金額				0			0						0			
(11)単位費用)額+正職員人件費)		72. 14千日	四 / 同	4, 112		227.25千円/回	12, 953					21, 9	69			21, 79
	s動結果指標) 評価 (DO+CHECK	<u> </u>	72. 14 []	12 12			227.20117										
	新項目	<u> </u>			車 #	, 介評価			T		市 仏 =	平 価(評価結果に原	たい 小羊を	보았다 (#c本+소+	s))		改善検
(1)事業が全	今必要である理由・ ?(事業の必要性)	それらを補完する。 る相談者も多く、	仕組みを地域 介護保険をは よるささえま	或で構築し はじめとし あいの仕組	が変化する中、地線でいくことが求められるサービスが た公的なサービスが しなを強化していく。	縁・血縁によるささだられる。また、制度の だけでなく、地域の!	えあい機能は低下してし の縦割りによる相談支持 見守り活動や地域住民に 、高齢者等が地域のさる	爰の隙間・狭間に陥 こよる生活支援サー	〇②事前		定どおり 定どおりでなかっ		いし、 収音者				O要 〇不要
必要 生 (2) 市が実施	をする必要性は	●①民間企業、N (理由) ■法令等 □提供主作 □その他	で市が実施す 体が市しかな	けることが		<その他の内容>	<その他の内容>				〇、市民団体等でなければ実効性がったことで市民へ・施策の目標の目標の	∼普及が一層	さ <市実施	他の具体的な内容・	必要性の理由>	>	0.77
あるか?		□市が実 サービ □市が支	導で進めるこ 施・提供する スが保証され 援することに 図られる	ことにより ることによ いる	る 実効性が得られる り、良質で安定し <i>†</i> :・施策の目標の	<その他の内容>		D他	確保された 供給基盤が確保さ	* <i>1.</i> †					〇要 〇不 § ——		
		こくの間	参加・協作	動の内容			工夫の具体的な内容				協働の具体的な内 考えられる場合に			参加・協	働の程度・内容	1	
参加・市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)		○①事業計画時に ●②事業実施時に ○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で ○⑥その他	こ市民の参画 こ市民の参画 内な活動と連	有り 有り 携している	3		」な活動を支援する仕組 住民と一緒に議論しな		ŧ	〇①当初期待した以上 〇②当初期待したとおり 〇③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であっ					であった原因>	〇要 〇不§	
			#1 ch	カー			₩1.40 + x + x + x + x + x + x + x + x + x +			-+- ·	塩」も見けなるご	1家		-m·	きへのむゆ		_
環境 環境に配慮の いるか?	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他				ゴミ問題やフード実施している。	取組む内容 ゴミ問題やフードロス問題等さまざまな団体と連携しながら 実施している。				実施した具体的な内容 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった							
		現況値(a)(回)	目標値(b	(回)			当性のチェック			達成状		〇①目標値達成 〇②目標値未達					\top
(1)目標設定	定は適切か?				■②現況値と比べ	タ・事実に基づき設実現性が乏しい値で	はない		実績値((f) (回)	達成率(%) (f/b×100)			『成となった原因>			── O要
		19	21		□④適当な比較対			(と現況値の差)と				- ロ豚で生成した	四/ 小炷				〇不到
効 (2)事業費肖 いるか?	削滅の工夫をして ?		る事業費削 事業費削 (千円 △8,8 川滅率(%)	咸額 (d) 円) 341	同等の水準で ■①国・県助成制 □②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 < 削減の内容>	実施予 度活用 対応	実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 対応 □⑥受益者負担				実施状況 ○①想定事業費 (%) 実績値 (g) (千円) 対事業費 (%) (g/c) × 100 ○②想定事業費 <超過理由等>			事業費以内			
	を実現する為に 事業費は適正か? 費用)		目標値対事業	業費 (e) 単位 回			計算方法 目標値×費用単位/事 :(目標値-現況値)×	実績値	達成状況					理由/目標値以	下であった原因]> 〇要 〇不§	
3. 事後評	洒											1					
〇現状どおり	推進 〇拡充	〇縮小	〇結合	〇休止	〇廃止 (つ事業手法見直し	〇その他(事業完了)	など)									
-T				評価コ	メント							改善策	及び展開方向	白			
評																	

	3号					争務争	業評価表(令	作り干及							
事業=	1− ド	2281		ā	課コード	0508	会	十種別 一般会計			予算の	D種類	■政策	□経常	□なし
1. 事	業の概要(PLAN)														
	× (= 1,0		基本事業					実施計画への							
		①事業名	個別事業	高齢者の保備	健事業と介護予防	坊の一体的実施事業		位置づけ	01	有 〇無		②部課名	健康福祉部・	· 高齢者支援課	
		③事業主体	●市	〇その他		0.fr.df) ④対象地区	□我孫子	口天王台	□湖北	□新木	□布佐	口全市	
(1)事業概	既要	⑤事業期間 ⑦事業費			一	3年度 ~		⑥担当職員数	(当 初)		1 人	(換算人数 (うち人件費	8,	. 900 千円)	
		(人件費含む)	総事業費			0 千円		当該(開始)年	(変更後)		千円	(うち人件費		千円)	
		⑧施策の位置づけ	施策		33202	重点プロジェクト	重点 5	基本計画地区		有 ●無		部門別計画への	(計画名) 第	第8期介護保険事	業計画
		#= #= D #=	コード 高齢者が要	介護・要支持	援状態になること	への位置づけ への位置づけ となく元気に暮らせるよう、介護	 予防につながる活動を支援	計画への位置で		:場所で健康づく	くりに参加でき	位置づけ る環境を整えると			
(2)目的		施策目的 · 展開方向				ができる環境を整えていきます。		事業目的				疾病予防・重症化			
						題の分析、事業の企画・調整を行 出し、状態把握を行うとともに、		春の受	①KDBシステム ②75歳以上の高			分析を行う。 から健診未受診、	医療機関未受調	診、介護サービ	ス未利用の対象
			診勧奨、介	護サービス等	等の利用につなけ			当該年度	者を抽出し、健	康状態を把握す	するためのアン	ケート調査を送付医療・介護サート	 する。アンケ-	ートの回答状況	
(3)事業内	内容	内 容	行う。		7,500 = 1,721	7.00 - 100 -		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				レイルに関する優			健康状態の把握
								当該年度	健康状態不明者	の健康状態が持	巴握できた割合	1	単位	想定值	55
(A) >= -B =	7 (Hg/t 7 - 15 m)				v + -1 = 1	T (HO(1-1-7-1-TD))		活動結果指標	E		16 19			実績値	(a) E læt
当該年	目標(期待する成果) E度	健康状態不明者の	健康状態が把	!握できる	達成日榜	票(期待する成果)		指標種類 直接	健康状態不明者		指 標 巴握できた割合	<u> </u>	単位 %	(5) 現況値	(6)目標値
令和		健康状態不明者の	健康状態が把	!握できる				直接	健康状態不明者	の健康状態が排	巴握できた割合	1	%		60
令和		健康状態不明者の	健康状態が把	!握できる				直接	健康状態不明者	の健康状態が持	巴握できた割合	1	%		65
TJ AU	5年度	75歳以上の高齢者	が増加してい	くことで、ヨ	要支援・要介護詞	忍定を受ける高齢者の割合の増加	が見込まれる。より多くの						70		0.5
(7)事業多	実施上の課題と対応	健康状態を把握し	、必要に応じ	医療・介護・	サービス等へつな	なげることで、疾病予防・重症化	予防を図っていく。	代替案検討	●4	有 〇無					
			令和 2年	年度	1		令和 3年度		· 令和	〕4年度			令和	5年度	ı
		政 策	内 容		金額(千円)	政 内 容		決算額(千円) 政策	内 容		金額(千円)	策 :	内 容		金額(千円)
						* 保健指導用消耗品 * 事務用封筒 通知および返信		事務	惶指導用消耗品 8用封筒 通知および	《返信用作成			前 通知および	返信用作成	93
						* 通信運搬費 * 保健指導用備品(口腔機能測	134 則定機器) 98		運搬費		33	37 通信運搬費	ľ		337
						* パート会計年度任用職員			- ト会計年度任用職員	Ĺ			十年度任用職員		
	実施内容					* (保健師) 1.0人	2, 509	(傷	R健師)1.0人		3, 03	31 (保健師)	1.0人		3, 031
(8)施行事	事項 費 用					* 高齢者支援台帳システム用機 業務委託	幾器設定 129								
	予算(決算)額 国庫支出金	a	計	0 %	0		3, 025		合 計	0 %	3, 46	69	合 計	0 %	3, 469
	県支出金	補助率 充当率		0 %	0	補助率	0 %	補助	<u>*</u>	0 %		0 補助率 0 充当率		0 %	0
(9) 財源内	内訳 一般財源 一般財源 その他の財源	□特会 □受	* 口甘今 口		0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	△5, 59	/3-	特会 口受益 口基金		△5, 52 8, 99	25	□受益 □基金		△5, 525 8, 994
	換算人数(人)	口付云 口交		7 0716	0		- での記 8,022 8,900		付去 口叉無 口茎並	■その限	8, 90	1		■での地	1 8, 900
(10) 人件	鳴託順貝報酬額				0		, (,	0			0
事業費(予算 (11)単位	算(決算)額+正職員人件費)				0		11, 925				12, 36	0			12, 369
(事業	業費/活動結果指標)		0千円/	* *		216.82 千 F	円/%								
2. 事	業の評価(D0+CHECK)													
	評価項目		+ 杜1-75歩い	しの言絵字/	事前	」 評 価	に伴る李曄聖の機能低下去	# 00±####= 0#		価(評価結果/	こ応じ、改善案	€検討(拡充も含む 	(((改善検討
		宣齢者 その由で			についてけ 海*	かの佐串わ合母のみたこず 加齢				-					
(1) 耳	「業が会心悪である珊山 ・	盤としたフレイル	やサルコペニ	ア、認知症	等の進行により値	牧の疾患や合併のみならず、加齢 固人差が大きくなり、多病、多剤 a.た地域で自立した生活ができる	処方の状態に陥るなど、健	東 ○②事前確認での想	ほんこのりでなかつに	-					○≖
	事業が今必要である理由・ 背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル	やサルコペニ なる。こうし	ア、認知症	等の進行により値 り除き、住み慣れ	固人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる	処方の状態に陥るなど、健	康 ○②事前確認での想	理由/想定どおりで						〇要 〇不要
		盤としたフレイル 上の不安が大きく を図るためには、	やサルコペニ なる。こうし 高齢者の特性	ア、認知症 た不安を取 を踏まえた(等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健	東 〇②事前確認での想: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	理由/想定どおりで	なかった原因>		5の具体的な内容・	必要性の理由	>	
必必		盤としたフレイル 上の不安が大きく を図るためには、 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	やサルコペニ なる。こうし 高齢者の特性 NPO、市民E で市が実施す	ア、認知症 た不安を取 を踏まえた(団体等では実 ることが定る	等の進行により値り除き、住み慣れ健康支援・相談を	固人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる	処方の状態に陥るなど、健	東 ○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で進め	理由/想定どおりで PO、市民団体等では かなければ実効性がな	なかった原因> t実施できなかっ なかった		5の具体的な内容・	必要性の理由	>	
必要	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル 上の不安が大きく を図るためには、 ●①民間企業、N (理由) ■法令等	やサルコペニなる。こうし なる。こうし 高齢者の特性 IPO、市民E で市が実施す 体が市しかな	ア、認知症 た不安を取 を踏まえた(団体等では実 ることが定る	等の進行により値り除き、住み慣れ健康支援・相談を	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健	東 ○②事前確認での想 <想定どおりとした ○①民間企業、NF □②市が主導で進め □③市が先導役とな 促進された	理由/想定どおりで: PO、市民団体等では かなければ実効性がな いったことで市民へ普	なかった原因> は実施できなかった いった F及が一層		の具体的な内容・	必要性の理由	>	
必 要 性 (2) ft a	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル 上の不安が大きく を図るためには、・ ●①民間企業、 (理由) ■法令等 □提供主 □その他 ○②自治体である	やサルコペニの なる。 の特性 NPO、 下市が 下市が 市が 作性 の が が が が が が が が が が が が が	ア、認知症を下不安を取た不安を取まるという。 アンドラ はまった (はま) ではまいい くきである	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を 健康支援・相談を 産施できない められている	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健	・ ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: O 、市民団体等ではかければ実効性がないたことで市民へ普 ・施策の目標の実現	なかった原因> は実施できなかった いった そ及が一層 ほに貢献した		の具体的な内容・	必要性の理由	>	〇不要
必 要 性 (2) ft a	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル上の不安が大きくを図るためには、 ●①民間企業、「(理由) ■ 法保供主 □ 日治体市が主 □ □ 市が実	やな高 P 市が市で 上で体 の で体 の で が で は の で は の で は の で は の で は の で は の で は の で は が が が で に も で も る で も る で も で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る で も る る で も る る る る る る る る る る る る る	ア、認知症取た (等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を 健康支援・相談を 産施できない められている	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健	 ▼ ○②事前確認での想 <想定どおりとした ○①民間企業、NF□②市が主導でととなる 促進された □④市の支援が政等 □⑤サービス水準カロ⑥サービスの安定 □⑦その他 	理由/想定どおりで: O 、市民団体等ではかなければ実効性がないたことで市民へ着 ・ 施策の目標の実現	なかった原因> は実施できなかった いった そ及が一層 ほに貢献した		の具体的な内容・	必要性の理由	>	〇不要
必 要 性 (2) ft a	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル上の不安が大きくを図るためには、 ●①民間企業、令等 担提供を他 ○②自治体本市が主実 中市が支まったがま	やする。 ・ で体 ・ で体 ・ で体 ・ で体 ・ でを ・ できるするとに ・ でるするとに	ア、認知症ないたないます。 ではまたが定さい ではません ではまたい ではました ではまたい べきではよる まり、 くとこる	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を 産施できない められている 効性が得られる	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健	 ▼ ②事前確認での想 < 想定どおりとした ○ 具間企業、NFは □ ②市が完導役とな 促進された □ ④市の・ビス水が 政第 □ ⑤サービスの安員 	理由/想定どおりで: O 、市民団体等ではかければ実効性がないたことで市民へ普 ・施策の目標の実現	なかった原因> は実施できなかった いった そ及が一層 ほに貢献した		の具体的な内容・	必要性の理由	>	○不要○○○○○○
必 要 性 (2) ft a	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル上の不安が大きくを図るためには、 ●①民間企業、令等 担提供を他 ○②自治体本市が主実 中市が支まったがま	やなる高齢者のでは、 ・でなる。 ・で体がでは、 ・で体がでは、 ・でででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でででは、 ・でで	ア、認知症に大変を取りた不なまえたんでは実をなっていっていいではいいくさにといっていましょい。	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ ○②事前確認での想 <想定どおりとした ○ □①民間企業、NF□②市が主導導ととなる 促進された □ ④市の支援が政等 □ ⑤サービス水準カロ⑥サービスの安定 □ ⑦その他 <その他の内容> 	理由/想定どおりで: O 、市民団体等ではかければ実効性がないたことで市民へ普 ・施策の目標の実現	なかった原因> 実施できなか・ かった 子及が一層 引に貢献した					○不要○○○○○○
必要性 (2) 計 ま	背景は?(事業の必要性)	盤としたフレイル 上の不安が大きく、 を図るためには、 ●①民間企業、令等 「理由」 ■ほ接供主の 〇②自治体市市が実ビッサーが支 「実現が	やする。 N で 体 が 推 進 の するこる に 実 か が 推 が 保 に で 体 が 推 が 保 に で 体 が 推 が 保 に こる は 導 応 が ま な こ こる と に を か か ・ は 像	ア、認知症にア、認知症になった不容まえたに可体等とでは実をあることではいいくとことはいいくとこるよりは、 サーカー でありました いんしょう かんしゅう アン・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ 事前確認での想 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定とおりとした ○ 日間企業・ア進め口②市が先導作となりできる。 □ 毎十一ピスの安定日でその他の内容〉 実施した参加・ 	理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等では なければ実効性がな こったことで市民へ普 き・施策の目標の実現 「確保された。」 任供給基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たかった F及が一層 引に貢献した した	った		必要性の理由		○不要○○○○○○
必要性(2)計ま(背景は?(事業の必要性) たが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性)	盤としたフレイル 上の不安が大きく、 を図るためには、 ●①民間企業、 (理由) ■ 提供主他 〇②自治 □ は体市市・がま実に 一が表現が、 一が表現の他	やな高 P で体 がずら で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	ア、マ、マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・マ・	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ 事前確認での想 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定とおりとした ○ 日間企業・ア進め口②市が先導作となりできる。 □ 毎十一ピスの安定日でその他の内容〉 実施した参加・ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではないければ実効性がないったことで市民へ着後・施策の目標の実践 経体とされた。 保統基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たかった F及が一層 引に貢献した した	った <市実施 〇①当 〇②当	参加・協			○不要○○○○○○
必 要 性 (2) n a a (背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	盤としたフレイル上の不安が大きくを図るためには、 ●①民間企業、令令 には、	やなな高 P 市が市市 T で体 お導施スがすられ の の では では では では では では では では では では	アたを ない さい さい ない かい ちゅうり りりりり いっぱい かい	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ 事前確認での想 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定とおりとした ○ 日間企業・ア進め口②市が先導作となりできる。 □ 毎十一ピスの安定日でその他の内容〉 実施した参加・ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではないければ実効性がないったことで市民へ着後・施策の目標の実践 経体とされた。 保統基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たかった F及が一層 引に貢献した した	つか 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり	働の程度・内容	\$P	O不要 O要 O不要
必 要 性 (2) n a a (背景は?(事業の必要性) おが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を	盤としたフレイル上の不安がたきくを図るためには、 ●①民間 企業、今等とのである。 「理由」 □ □ □ □ □ □ 体市市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やなな高 P 市が市市 T で体 お導施スがすられ の の では では では では では では では では では では	アたを ない さい さい ない かい ちゅうり りりりり いっぱい かい	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ 事前確認での想 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定とおりとした ○ 日間企業・ア進め口②市が先導作となりできる。 □ 毎十一ピスの安定日でその他の内容〉 実施した参加・ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではないければ実効性がないったことで市民へ着後・施策の目標の実践 経体とされた。 保統基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たかった F及が一層 引に貢献した した	つか 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	働の程度・内容	\$P	O不要 O要 O不要
必 要 性 (2) n a a c	背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	盤としたフレイル上の不安がたさく。 ●①民間 企業、今等で図るを図るを図るを関する。 ●①日本のでは、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やなな高 P 市が市市 T で体 お導施スがすられ の の では では では では では では では では では では	アたを ない さい さい ない かい ちゅうり りりりり いっぱい かい	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」	 ▼ 事前確認での想 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定とおりとした ○ 日間企業・ア進め口②市が先導作となりできる。 □ 毎十一ピスの安定日でその他の内容〉 実施した参加・ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではないければ実効性がないったことで市民へ着後・施策の目標の実践 経体とされた。 保統基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たかった F及が一層 引に貢献した した	つか 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下	働の程度・内容	\$P	○不要 ○
必 要 性 (2) n a a c	背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	盤としたフレイルとの不っためには、 ●①民間●企業、令等としたでがかには、 ●①民間●企業、令等とは、 ○②自治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やなな高 P で体 S i i i i i i i i i i i i i i i i i i	アたを は定 は ない さとこるよ めの りりりて いる 実り ・ が おりよ	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等ではなければ実効性がないたことで市民へ普美・施策の目標の実現で確保された。 世代のは、	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	つか 〇①当 〇②当 〇③当	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 た以上となった到	働の程度・内容	\$P	O不要 O要 O不要
必 要 性 (2) n a a (背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか?	盤としたフレナルとの不っためには、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やなな高 P 中 市が 地域な高齢者 P 市が市が 推め供証こる ・ 協画画画連進 配い ののの参と実施 配い のる では を 民民のの参と実施 のののをと実施 のののをと実施 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 のののをとまた。 ののる	アたを は定 は ない さとこるよ めの りりりて いる 実り ・ が おりよ	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	個人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではないければ実効性がないったことで市民へ着後・施策の目標の実践 経体とされた。 保統基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保された。 機能基盤が確保され	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	つた <市実施 〇①当当 〇②当 <期待し	参加・協 初期待した以上おり初の期待以下下 小に以上となった 環 環 定 ど おり	働の程度・内容 理由/期待以下 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	\$P	O不要 O要 O不要
必要性 参加・協働の工夫 環境	背景は?(事業の必要性) 市が実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? 引づくり)	盤とした安かにした安かにした安かにした安かにした安かにした安かにした安かにした安かに	やな高 P で体 5 導施ス援図	アたを Total Action Control Co	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等ではなければ実効性がないたことで市民へ普美・施策の目標の実現で確保された。 世代のは、	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	つた <市実施 〇①当当 〇②当当 <期待し 〇①想が 〇②想が	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 .た以上となった理 定どおりでなかっ	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た	\$P	○
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	背景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 引づくり)	盤としたフレイルとの不っためには、「等主の不っためには、「等主の不っためには、「等主のでは、」「等主のでは、「等主のでは、」「等主のでは、」をいいます。」 「「等主のでは、」」をいいます。「等主のでは、」 「等主のでは、「等主のでは、」」をいいます。「等主のでは、」」をいいます。「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、」をいいます。「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、」をいいます。」をいいます。「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、」をいいます。」をいいます。「等主のでは、「等主のでは、」をいいます。」をいいます。「等主のでは、「等主のでは、」をいいます。」をいいます。「等主のでは、」をいいましいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。「等をいいます。」をいいます。 「をいいます。」をいいまり。」をいいます。」をいいます。」をいいまいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいます。」をいいまいます。」をいいます。」をいいます。	やな高 P で体 5 導施ス援図	アたを Total Action Control Co	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 既存の地区組織を活用した事業	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等ではなければ実効性がないたことで市民へ普美・施策の目標の実現で確保された。 世代のは、	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	つた <市実施 〇①当当 〇②当当 <期待し 〇①想が 〇②想が	参加・協 初期待した以上おり初の期待以下下 小に以上となった 環 環 定 ど おり	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た	\$P	O不要 O要 O不要
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	背景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 引づくり)	盤としたすがには、 ●①日に では、、	やな高 Nで体 「 i i i i i i i i i i i i i i i i i i	アたを Total Action Control Co	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 既存の地区組織を活用した事業	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等ではなければ実効性がないたことで市民へ普美・施策の目標の実現で確保された。 世代のは、	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	つた <市実施 〇①当当 〇②当当 <期待し 〇①想が 〇②想が	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 .た以上となった理 定どおりでなかっ	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た	\$P	○
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ	背景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 引づくり)	盤としたすがには、「等主としたすがになった。」 ●① 日本 ・	やな高 Nで体 「 i i i i i i i i i i i i i i i i i i	アたを Total Action Control Co	等の進行により低り除き、住み慣れ健康支援・相談を を できない を がられている 効性が得っている 効性が質で安定した。	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。 <その他の内容> <その他の内容> エ夫の具体 既存の地区組織を活用した事業	処方の状態に陥るなど、健 期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 業を展開していく。		理由/想定どおりで: O 〇、市民団体等ではなければ実効性がないたことで市民へ普美・施策の目標の実現で確保された。 世代のは、	なかった原因> 「実施できなかートラング」 「実施できなかー層」 「貢献したした」 「又は今後、その内容)	○①当 ○②当 ○②当 ○ ○②当 ○ ○② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 .た以上となった理 定どおりでなかっ	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た	\$P	○
必 要 性 参加・協働の工夫 環境へ 市工(本 環境へ で	背景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 引づくり)	盤としたすがには、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	やな高 Nで体 「 i i i i i i i i i i i i i i i i i i	アたを da con control c	等の進行により信 り除き、住み慣れ 健康支援・相談を EME できない る が、良い の 日標で 目標の	国人差が大きくなり、多病、多剤 れた地域で自立した生活ができる を行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 **的な内容 業を展開していく。	・ ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではないなければ実効性がなき、たまの目標の実践・施保された。と供給基盤が確保される場合には協働の具体的な内容はある場合には	なかった原因> 実施できなか・ たみが一層 記で貢献した した	oた <市実施 O①当当 O②当当 <期待し O①想想 O②を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 .た以上となった理 定どおりでなかっ	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た	\$P	○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 市工(体 環い	背景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 引づくり)	盤としたすがしています。 ●①日は □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	やなな高 P o f i i i i i i i i i i i i i i i i i i	アたを das v	等の進行により信息の進行により信息を表している。 「②客観的などとべる」 「③客観的などとべる」 「③客観的などとべる」 「③客観的値ととべる」 「③を観り値ととべる」 「③を観り値ととべる」 「③を観り値ととべる」 「③を観り値ととべる」 「③を観り値ととべる」 「③を観り値とといる」 「③を観り値とといる」 「③を観り値といる」 「④を記録した」 「⑥を記録した」 「⑥を記録した] 「⑥を記述した] 「⑥を記録した] 「⑥を	国人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 **的な内容 業を展開していく。	 ▼ (2 事前確認での想法を記さいとした) ✓ (想定どおりとした) ✓ (想定どおりとした) ○ (2 市が先達導化となる) ○ (3 市が先達さ援が準さるとのでは、10 のサービスののビスののビスののでは、10 の中では、10 のでは、10 の	理由/想定どおりで、 PO、市民団体等ではなったことで・一様の実効性がなったことで・一様の目標の実践で確保された。 と ・ 施保された 確保され を で は の 具体 を 基盤が 確保 され は 場 の 具体 も 場 の 具体 も 場 の よ る よ ら れ る 場 合 に は に し た 具体 的 な 内容	なかった原因> (実施できなかーた まかった にかった にするが一層 に貢献した した (又は今後、 その内容)	つた <市実施 O①当当当 O②3当当 <期待し O①2割次 <想定と	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待以下 .た以上となった理 定どおりでなかっ	働の程度・内容 理由/期待以下 竟への配慮 た 頁因>	\$P	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	情景は?(事業の必要性) おが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? 到づくり)	盤とした安がかにした安がにした安がにした安がかにした安がかにした安がかにした安がかにして安がかにして安がかに関 ■ □□ 日田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	やな高 Nで体 高導施ス様図 では、	アたを da con control	等の進行により信息の進行により信息を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	国人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 本的な内容 薬を展開していく。	様:	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなければ実効性がないたとで市民の目標の実践で確保された。 に供給基盤が確保された。 は、一般の関係をはない。 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、一般のでは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	なかった原因> (実施できなかーた まかった にかった にするが一層 に貢献した した (又は今後、 その内容)	つた <市実施 O①当当当 O②3当当 <期待し O①2割次 <想定と	参加・協 初期待した以上 初期待したとおり初の期待以下 よた以上となった理 定どおりでなかった原	働の程度・内容 理由/期待以下 竟への配慮 た 頁因>	\$P	○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 おおより 長夫株 境る	情景は?(事業の必要性) おが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? 到づくり)	盤としたすがしています。 ●①日は □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	やな高 P で体 5 導施ス援図	アたを da con viet con control	等の進行により信息 等の進行により信息 が表す。 できまないる の性が質でもない。 のは、 を取り、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	国人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 本的な内容 薬を展開していく。	 ▼ 事前確認での想法 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした ○ ① 民間企業 導役とを 促進 主導化 と で (足 値 下 の ビスの で で の 他 で 人 で の 他 の 内 容 〉 ▼ 実施した参加・協働が 	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではかなければ実効性がならったとで市民、 ・施策の目標の実践で確保された。 で供給基盤が確保された。 で供給基盤が確保された。 は働の具体的な内容は がある場合には	なかった原因> (実施できなか・) (まかった アンドラ	った < 市実施 ○①当当当 ○②③当当	参加・協 初期待した以上 初初期待したとと 初初期待はたい下 た以上となった 環 定定どおりでなかった がおりでなかった がおりでなかった がある。 はとなった原因>	働の程度・内容 理由/期待以下 竟への配慮 た 頁因>	容であった原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の上夫 環境への配慮 (1) 日本まで (2) 市工(体 環い (1) (1) 日本まで (2) 日本まで (3) 日本まで (4) 環境への配慮 (5) 日本まで (6) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (8) 日本まで (9) 日本まで (1) 日本まで (2) 日本まで (2) 日本まで (3) 日本まで (4) 日本まで (5) 日本まで (6) 日本まで (7) 日本まで (7) 日本まで (8) 日本まで (9) 日本まで (1) 日本まで (2) 日本まで (2) 日本まで (2) 日本まで (3) 日本まで (4)	情景は?(事業の必要性) おが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? 到づくり)	盤上をを ●①は ・ であった。 ・ では、 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ であった。 ・ では、 ・	やな高 P で体 5 導施ス援図	アたを da c n くとこるよ	等の進行により信息の進行により信息を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	個人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、00Lの維持向」 本的な内容 業を展開していく。 ご内容 ク する目標値(と現況値の差)と 1等民間資本の活用	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではかなければ実効性がならったとで市民、 ・施策の目標の実践で確保された。 で供給基盤が確保された。 で供給基盤が確保された。 は働の具体的な内容は がある場合には	なかった原因> 「実施できなか・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	った ○① 当当 ○② ③ 当 ○② ③ 当 ○② ② また理由 ○② ② 想定 ○○ ② 想定 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ○	参加・協 初期待したとより 初期時待したとおり が以上となった到 定定どおりでなかった 原 成となった原 成となった 事業	働の程度・内容 理由/期待以下	容であった原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 (2) 市工(体環い間) (1) (2)	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 可でいるか? 「に配慮して事業を進めてか? 「に配慮して事業を進めてか?	盤としています。 ●①田由 □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□	やな高 P で体	アたき 団るい べとこるよ	等の能主ない。 「のときとない。 「のときとない。 「のときとない。 「のときとない。 「のときである。 「のととのない。 「のととの数でである。 「ののととの数ででは、 「ののととの数ででは、 「ののととの数ででは、 「ののととの数ででは、 「ののととの数ででは、 「ののという。 「ののいういう。 「ののいういういういういういういういういうい。 「ののいういういういういういういうい。 「ののいういういういういういうい。 「ののいういういういういういういうい。 「ののいういういういういういういういういういういうい。 「ののいういういういういういういういういういういうい。 「ののいういういういういういういういういういういういういういういういういういうい	国人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 本的な内容 素を展開していく。 な内容 ク する目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	 ▼ 事前確認での想法 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした ○ ②市が先さ海へとを 保証・では、一〇・カー・ビスのサービスのサービスの中の他 マン 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が 実績値(f)(%) 実施れ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではかなけるにとで市民の書様の実現ではからできないた。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤がでは、 は働の具体的な内容。 は、	なかった原因> (実施できなか・ を	った ○① 当当 ○② ③ 当 ○② ③ 当 ○② ② また理由 ○② ② 想定 ○○ ② 想定 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ○	参加・協 初期待した以上 初期明待したとおり 初期待したとなった	働の程度・内容 理由/期待以下・ 養への配慮 た 寝因>	容 であった原因> こついて	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 (2) 市工(体 環い (1) (2) 目 すし 3) 平	情景は?(事業の必要性) おが実施する必要性は あるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? 引づくり) に配慮して事業を進めて か?	盤とした安かとした。	やな高 P で体	アたを da c	等の能主ないる (1) では、 (1) で	国人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 本的な内容 素を展開していく。 な内容 ク する目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	 ▼ 事前確認での想法 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした 〈想定どおりとした ○ ②市が先さ海へとを 保証・では、一〇・カー・ビスのサービスのサービスの中の他 マン 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が 実績値(f)(%) 実施れ 	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではかなけるにとで市民の書様の実現ではからできないた。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤がでは、 は働の具体的な内容。 は、	なかった原因> (実施できなか・ を	った ○① 当当 ○② ③ 当 ○② ③ 当 ○② ② また理由 ○② ② 想定 ○○ ② 想定 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ○	参加・協 初期待した以上 初期明待したとおり 初期待したとなった	働の程度・内容 理由/期待以下 竟への配慮 た 原因>	容 であった原因> こついて	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 (2) 市工(体 環い (1) (2) 目 すし 3) 平	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 可でいるか? 「に配慮して事業を進めてか? 「に配慮して事業を進めてか?	盤とした安かとした。	やな高 P で体 5 導施ス援図 では、 するすさと 協 画画画連施	アたを da c	等の能主ない。	国人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 本的な内容 素を展開していく。 な内容 ク する目標値(と現況値の差)と 「等民間資本の活用 者負担	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: OO、市民団体等ではかなけるにとで市民の書様の実現ではからできないた。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤が確保された。 と供給基盤がでは、 は働の具体的な内容。 は、	なかった原因> (実施できなか・ を	った ○① 当当 ○② ③ 当 ○② ③ 当 ○② ② また理由 ○② ② 想定 ○○ ② 想定 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ② 表表 ○○ ○	参加・協 初期待した以上 初期明待したとおり 初期待したとなった	働の程度・内容 理由/期待以下 竟への配慮 た 原因>	容 であった原因> こついて	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 (2) 市工(体 環い (1) (2) 目 すし 3) 平	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 可でいるか? 「に配慮して事業を進めてか? 「に配慮して事業を進めてか?	盤上を ● ① 田山 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	やな高 P で体 な p で p で p で p で p で p で p で p で p で p	アたを 体こ さにと り 内りりして が あよに 政 容 いっぱん 女 は 女 ない は まま いっぱん は まま ない は まま ない ちょう は まま ない からい は まま ない からい は まま ない からい は ない は ない は ない からい は ない は	等の能主ない。	個人差が大きくなり、多病、多剤れた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 な的な内容 と表情である。 ない内容 との表情である。 は、内容 との表情である。 は、内容 との表情である。 は、内容 との表情である。 は、内容 との表情である。 は、内容 との表情である。 とのま情である。 との表情である。 との表情では、 との表情である。 との表情では、 との表情では、 との表情である。 との表情では、 との表情では、 との表情では、 との表情では、 とのま情では、 との表情では、 との表情では、 とのま	様:	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなったことで・一次では、	なかった原因> (実施できなか・	った ○①①当当当 ○②②③	参加・協 初期待した以上 初期特したとと 取 現 定 定 ど おり の な か っ た 以 上 と な っ た 現 に に に な な な か っ た に に な な な な な な な な な な な な な な な な な	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 (2) 市工(体 環い (1) (2) 目 (3) 目 (2) 目	情景は?(事業の必要性) おが実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか? に配慮して事業を進めて にか? 「に配慮して事業を進めて にか? 「は適切か?	盤上を ● ① 田山 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	やな高 P で体 5 導施ス援図 では、 するすさと 協 画画画連施	アたを dash control con	等の進子により側側を でれて いる の で は で れて いる の に より 側側 で で れて いる の に ない る こ が で れ で れ で か に で れ で の に で れ で の に で 根 の の 値値 な な と と む 水 と の を と と む 水 と の な と と と 比 水 水 で の 回 現 神 悟 雪	個人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 Pop を	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	なかった原 実施でた 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで の ででで の ででで の ででで の ででで の の ででで の の でで にで の でで にで にで の でで にで の でで の でで の の の の の の の の の の の の の	った	参加・協 初期待した以上 初期明待したとおり 初期待したとなった	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率性 (2) 市工(体環い間) (3) (4) (2) (5) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (1) (9) (1) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (4) (6) (1) (7) (2) (8) (4) (9) (4) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (8) (4) (9) (4) (1) (2) (3) (4) (1) (2) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (7) (4) (8) (4) <	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? 市実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? 「は配慮して事業を進めてか? 「は配慮して事業を進めてか? 「は配慮して事業を進めてか?	盤上を ● ① 田山 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	やな高 P で体 な p i p i p i p i p i p i p i p i p i p	アたを dash control con	等の進子により側側を でれて いる の で は で れて いる の に より 側側 で で れて いる の に ない る こ が で れ で れ で か に で れ で の に で れ で の に で 根 の の 値値 な な と と む 水 と の を と と む 水 と の な と と と 比 水 水 で の 回 現 神 悟 雪	個人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 Pop を	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければ実効性のでは、	なかった原因> (実施できなか・・	った	参加・協 初期待した以上 初期特したとと 取 現 定 定 ど おり の な か っ た 以 上 と な っ た 現 に に に な な な か っ た に に な な な な な な な な な な な な な な な な な	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 (2) 市工(体環い間) (2) 市工(体環い間) (3) (1) (2) (3) (3) (1) (4) (3) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (7) (4) (8) (4) (9) (4) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (7) (4) (7) (4) (8) (4) (8) (4) (9) (4) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (8) (4) (7) (4) (8) (4) (9) (4) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (7) <t< th=""><th>情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか。 のでいるか。 のでいるが。 は適切か? 「はためでは、 は適切か? 「はない。 「はない。 「は、 は、 は</th><td>盤上を図るとしています。</td><td>やな高 P で体 な p i p i p i p i p i p i p i p i p i p</td><td>アたを da con viet con con control con control con control con control control</td><td>等の進きにより債を 等の進きでいる 「①客観の値により債を をしている 「②のでは、は、ののでは、では、ののでは、では、ののでは、では、ののでは、ののででは、ののででは、ののででは、ののでは</td><td>個人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。</td><td>処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 Pop を</td><td>ま ○②事前確認での想</td><td>理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を</td><td>なかった原 実施でた 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで の ででで の ででで の ででで の ででで の の ででで の の でで にで の でで にで にで の でで にで の でで の でで の の の の の の の の の の の の の</td><td>った</td><td>参加・協 初期待した以上 初期特したとと 取 現 定 定 ど おり の な か っ た 以 上 と な っ た 現 に に に な な な か っ た に に な な な な な な な な な な な な な な な な な</td><td>働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。</td><td>学 であった原因> こついて いった た原因></td><td>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td></t<>	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか。 のでいるか。 のでいるが。 は適切か? 「はためでは、 は適切か? 「はない。 「はない。 「は、 は、 は	盤上を図るとしています。	やな高 P で体 な p i p i p i p i p i p i p i p i p i p	アたを da con viet con con control con control con control con control	等の進きにより債を 等の進きでいる 「①客観の値により債を をしている 「②のでは、は、ののでは、では、ののでは、では、ののでは、では、ののでは、ののででは、ののででは、ののででは、ののでは	個人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 Pop を	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	なかった原 実施でた 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで の ででで の ででで の ででで の ででで の の ででで の の でで にで の でで にで にで の でで にで の でで の でで の の の の の の の の の の の の の	った	参加・協 初期待した以上 初期特したとと 取 現 定 定 ど おり の な か っ た 以 上 と な っ た 現 に に に な な な か っ た に に な な な な な な な な な な な な な な な な な	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? の参加や市民との協働をしているか。 のでいるか。 のでいるが。 は適切か? 「はためでは、 は適切か? 「はない。 「はない。 「は、 は、 は	盤上を	やな高 Pで体 5-導施ス接図 Tourner Extitude	アたを da con viet con con control con control con control con control	等の性質を でれて いる の で は で は で は で は で は で は で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で れ で は で な とと 比 水 助 制 で 費 明 値値 な な か は と い 教 生 で は で の は で は 受 の の は の は で は で の は の で	国人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 Pop を	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	なかった原 実施でた 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで 層 した ででで の ででで の ででで の ででで の ででで の の ででで の の でで にで の でで にで にで の でで にで の でで の でで の の の の の の の の の の の の の	った	参加・協 初期待した以上 初期特したとと 取 現 定 定 ど おり の な か っ た 以 上 と な っ た 現 に に に な な な か っ た に に な な な な な な な な な な な な な な な な な	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3・現場 (2) 市工(体 環い (1) (2) 国対(事状)	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? の参加やあの必要性) の参加やるか? の参加やるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はなるは適切か? はなるは適なが? はなるは適正か? はなるは適正か? はなるは適正か? はなるは、 はない。	盤上を	やな高 Pで体 5-導施ス接図 Tourner Extitude	アたを da c v v v c c c c c v v v c c c c v v v c c c c v v v v c c c c c v v v v c c c c c v v v v c c c c c v	等の機・	国人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 な	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (大) はつかった原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因のではつかった。原因のではつからなのではつかった。原因のではつからなのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではの	った	参加・協 初期待した以上 初初初の以上となった 環 定定 がおりのでなかった 原 を定 がおりでなかった の では、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率性 3. 事	情景は?(事業の必要性) 「おが実施する必要性はあるか? の参加やあの必要性) の参加やるか? の参加やるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はあるか? はなるは適切か? はなるは適なが? はなるは適正か? はなるは適正か? はなるは適正か? はなるは、 はない。	盤上を	やな高 Pで体 5-導施ス接図 Tourner Extitude	アたを da c	等の機・	国人差が大きくなり、多病、多剤のた地域で自立した生活ができるを行う必要がある。	処方の状態に陥るなど、健期間の延伸、QOLの維持向」 な	ま ○②事前確認での想	理由/想定どおりで: PO、市民団体等ではなうなければとで市民団体等ではなったことでの日標の実力を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (実) なかった原因> (大) はつかった原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因> (大) はつかった。原因のではつかった。原因のではつからなのではつかった。原因のではつからなのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではのではの	った	参加・協 初期待した以上 初初初の以上となった 環 定定 がおりのでなかった 原 を定 がおりでなかった の では、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	働の程度・内容 動の程度・内容 竟への配慮 た 原因> 費の削減対策に 定とどおりでなかった。	学 であった原因> こついて いった た原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○